

公益財団法人とよなか国際交流協会  
2017年度年次報告書 (概要版)

# こくりゅう@home 2017

2017年4月1日～2018年3月31日 (24期)

公正で持続可能な多文化共生社会をつくります



とよなか国際交流協会 2017 年度年次報告書（概要版）こくりゅう@home 2017

も・く・じ

もくじ・とよなか国際交流協会の活動について 2  
 理事長・事務局長あいさつ 3  
 外国人をとりまく現状と ATOMS の取り組み 4-5  
 <各事業からの報告>  
 ・学習支援・サンフレイス/子ども母語 6  
 ・多文化保育にこここ/韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい 7  
 ・若者支援/とよなかこどもほんご教室 8  
 ・小学校外国語体験活動事業/子ども学習広場「学楽多」 9  
 ・多言語相談サービス事業 10-11  
 ・国際教育/Filipino Young at Heart' s Club 12  
 ・防災事業/平和と共存のための～おまつり地球一周クラス 13  
 ・留学生・ホストファミリー事業 14  
 ・しょうない・おやこでにほんご/おかまち・おやこでにほんご 15  
 ・せんり・おやこでにほんご/日本語交流活動「千里にほんご」 16  
 ・日本語交流活動「もっともつつかえるにほんご」「とよなかにほんご・木ひる」 17  
 ・日本語交流活動「とよなかにほんご・金あさ」「にちようがちゃがちゃだん」 18  
 ・多文化共生推進事業/ボランティア養成・研修・哲学カフェ 19  
 ・持続可能な開発のための教育の 10 年（ESD）とよなか/海外体験学習 20  
     /メディアリテラシー・市民セミナー/講師派遣/EPA 介護福祉士候補者のための日本語  
 ・市民活動協働事業/施設管理受託事業 21  
 TOPICS 22-23  
 財務報告 24-25  
 協力者ご芳名 26  
 役員紹介/スタッフ紹介 27  
 事業一覧 28  
 広告協賛 29-32

とよなか国際交流協会の活動について

～公正で持続可能な多文化共生社会を創ります～

外国人が安心して集える居場所づくり&エンパワーメントをすすめる事業や多文化共生社会を推進するひとづくりを中心に、さまざまな活動を地域や学校と連携しながら日常的に展開しています。

【活動理念】市民の主体的で広範な参加により、人権尊重を基調とした国際交流活動を地域からすすめ、

世界とつながる多文化共生社会をつくる

受賞歴	
2016. 10	大阪 NPO センター CSO アワード CSO 賞
2014. 01	大阪弁護士会 人権賞
2013. 05	憲法記念日 大阪府知事 公共関係功労者賞
2013. 02	公益財団法人パナソニック教育財団 2012 年度 「子どもたちの“こころを育む活動”」奨励賞

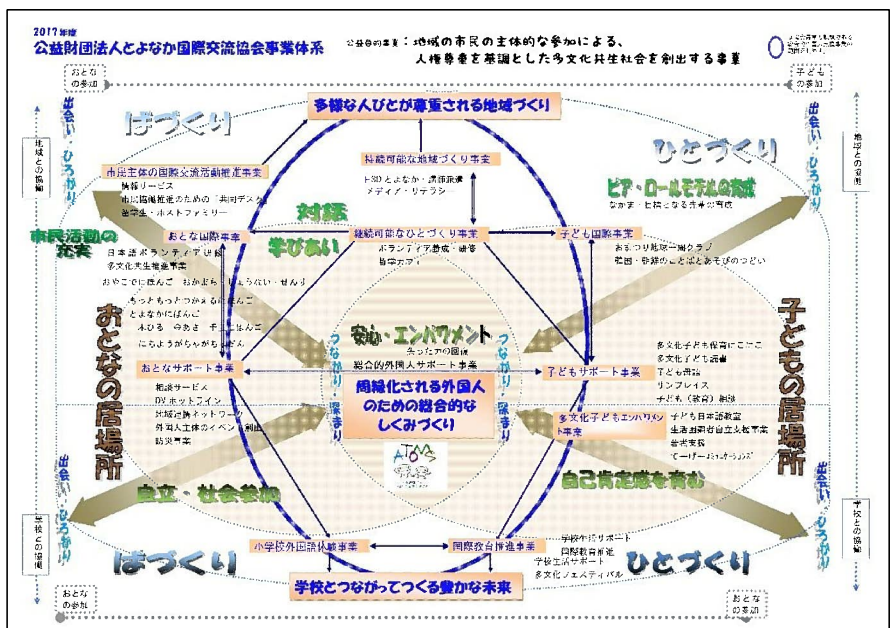
公益財団法人とよなか国際交流協会

住所：大阪府豊中市玉井町 1-1-1-601

エトレ豊中 6 階 とよなか国際交流センター

TEL:06-6843-4343 FAX 06-6843-4375 (水曜休館)

E-mail: atoms@a.zaq.jp URL http://www.a-atoms.info





2017年、初めて故郷の地を踏みました

## 理事長あいさつ

皆さん、いつも当協会にご支援賜り、誠にありがとうございます。

ご好評につき（ホントです！）、一昨年、昨年に引き続き、今年も当協会の年次報告書（市民向け概要版）を作成いたしました。昨年同様、今年も写真が一杯で、詳細な事業報告書でも伝えきれない雰囲気まで一目でお伝えできる、わかりやすい年次報告書ができたのではないかなと思っています。

この年次報告書を読みながら、当協会の事業評価会の様子を思い出しています。事業評価会は当協会が毎年年度の終わりに行く、全事業の担当者が集まって報告をする、振り返りの会です。限られた時間に多くの事業担当者のご報告をいただくため、報告は1事業数分という制約があり、担当者の方々はその数分で事業内容を説明しようと努力はされるのですが・・・チン「〇分経ちました。報告終わって下さい。」と無情のベル。早口だと伝わりにくいし、ゆっくりだと伝えきれない・・・ああ無念。という感じで事業評価会が進み、終わります。この年次報告書の各事業についての写真やコメントは、そんな各事業担当者の無念を補って余りあるのではないかなと、私は思っています。

「知ってもらおう」「来てもらおう」「参加してもらおう」「支援してもらおう」もらうばかりで恐縮ですが、これが当協会のスタッフ一同の強い願いであって、日々そのための工夫をスタッフ一同心がけていると言っても間違いではないと思います。

当協会の事業について、1人でも多くの方々に「知ってもらい」「来てもらい」「参加してもらい」そして「支援してもらおう」きっかけとして、この年次報告書が少しでもお役に立てば何よりです。

では皆さん、今後とも当協会をよろしくお願いいたします。

まつもとやすゆき

松本康之（理事長）



## 事務局長あいさつ



とよなか国際交流協会はボランティアからは「とよなかこくりゅう」や「こくりゅう」と呼ばれます。外国人からは「ATOMS（アトムス）」とか「センター」と呼ばれます。いろいろな名前では呼ばれていますが、そんなこくりゅうも今年の11月18日で25歳。はや、四半世紀です。2018年度には記念の出版やイベントを予定しています。みなさん、どうぞお楽しみに！

さて、2017年度もいろいろな事業が生まれました。千里地域で日本語交流活動「千里にほんご」、フィリピン出身者の高齢化を見据えて始まったコミュニティ活動「Filipino Young at Hearts' Club」。一昨年度立ち上がった「リコン・アラート

（協議離婚問題研究会）」では、離婚に関する一日電話相談会を実施しました。また、大阪府内で外国につながる子どもの教育に関わっている団体と協働でシンポジウムも実施しました。一方で全事業のボランティアと行った事業評価会では、いいところだけでなく、事業同士、外国人コミュニティ同士、地域とのつながりをもっともっと必要ではないかという課題も出ました。

今年度もみなさんの参加、協力、アイデア、工夫と一緒に事務局もがんばっていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

やまのうえたかし

山野上隆史（事務局長）

# 外国人をとりまく現状と ATOMSの取り組み

## とよなか国際交流協会

アトムス  
通称 **ATOMS**

### 基本理念

市民の主体的で広範な参加により、  
人権尊重を基調とした国際交流活動を  
地域からすすめ、世界とつながる  
多文化共生社会をつくる。

### 事業の三本柱

- ① 多様な人々が尊重される地域づくり
- ② 周縁化される外国人のための  
総合的なしくみづくり
- ③ 学校とつながってつくる豊かな未来

## ◎ 豊中市の外国人人口と国籍数 [2018年3月末]

**人口** 5,436人 この2年で外国人の数は  
10%以上増加しています  
→ 人口の約1.3%

**国籍数** 91ヶ国・地域

### 国・地域別の上位10

1	韓国・朝鮮	2,034人
2	中国	1,517人
3	ベトナム	344人
4	フィリピン	217人
5	台湾	165人
6	米国	124人
7	インドネシア	123人
8	インド	113人
9	ネパール	100人
10	タイ	56人

## ◎ センターの年間利用者数 [2017年度]

**84,755人** うち **外国人 33,893人**

→ 全体の約40%

### 取り組み①

## 外国人のライフステージに沿った多様な支援

### 乳幼児

- 多文化子ども保育「にこにこ」
- おやこでにほんご → おかまち、しょうない、せんり



### こども

- こども母語 → 中国、スペイン、ポルトガル、タイ語（計4言語）
- 学習支援「サンプルイス」
- 韓国・朝鮮のこぼとあそびのつどい
- こども日本語教室



### わかもの

- 若者支援事業 → たまりば、相談、にほんご
- 留学生・ホストファミリー事業



### おとな

- 日本語交流活動 → もっともつつかえるにほんご、木ひる、金あさ、にちようがちゃがちゃだん、千里にほんご
- 多言語での相談サービス → 英語、韓国・朝鮮語、中国語、タイ語、インドネシア語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語、ネパール語、フィリピン語（計10言語）
- おやこでにほんご



### 高齢者

- 多言語での相談サービス
- Filipino Young at Heart's Club  
（フィリピン人の中高年支援事業）



日本語指導を必要とする子どもの数

〔全国〕・外国籍の子ども 34,335人  
・日本国籍の子ども 9,612人  
〔大阪府〕 2,275人

豊中市内の外国人児童・生徒 147人  
帰国児童・生徒 92人

国際結婚の割合(全国)  
30組に1組

2017年  
スタート

豊中市の外国人高齢者<sup>※</sup>の数 653人

→ 高齢化率は12.0%  
豊中市全体の高齢化率 24.0%

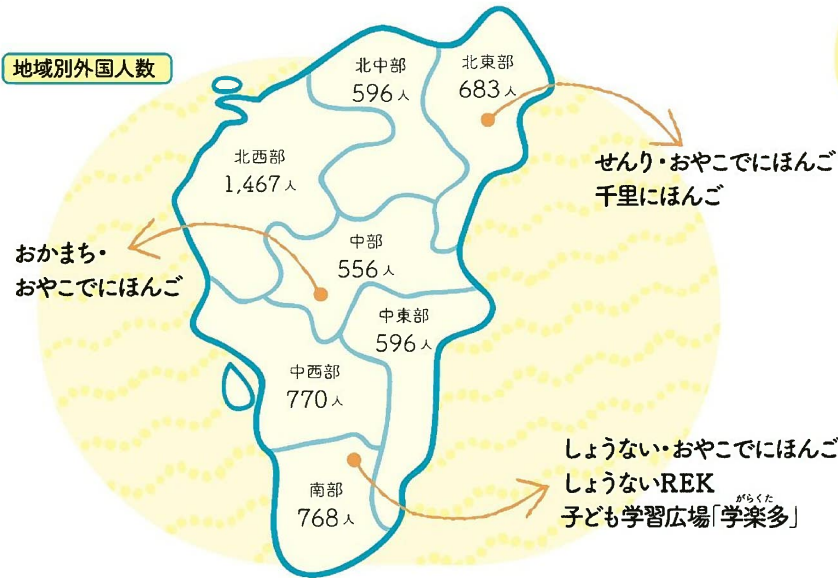
〔参考〕日本全体の高齢化率 27.3%  
全国の外国人高齢化率 6.6% ※65歳以上

2017年  
スタート



取り組み②

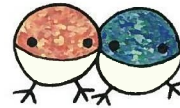
センターから飛び出して実施している事業



Facebookページ

とよなか国際交流協会

で検索!



コモ & スース

取り組み③

地域で活動する市民ボランティア

ATOMSで活動するボランティア 約480人

にほんごボランティア	137人
ママさんボランティア	30人
大学生・高校生ボランティア	33人
外国人ボランティア	76人
ホストファミリーボランティア	134家族
《参考》賛助会員: 285人(うち団体会員8団体) など	

取り組み④

さまざまな団体と一緒に取り組む活動



学校との協働

- 小学校外国語体験活動
- 多文化フェスティバル
- 講師派遣
- 多言語による進路ガイダンス



図書館との協働

- 「おやこでにほんご」  
→ 岡町、庄内、千里図書館
- 多文化子ども読書推進事業



地域のさまざまな団体との連携

- しょうないREK  
→ 外国にルーツを持つ中学生のための進路相談会@庄内 など
- 豊中市スポーツ振興事業団  
→ 「サムライプロジェクト」(外国人のための武道体験)
- とよなか国際交流センター登録団体との連携  
→ 国際交流フェスタ など
- 共同デスク\*  
→ 壁新聞の発行、情報共有・連携



\* (社福)豊中市社会福祉協議会、(一財)とよなか男女共同参画推進財団、(公財)豊中市スポーツ振興事業団、(特活)とよなか市民環境会議アジェンダ21、とよなか市民公益活動協議体らっぷ、(公財)とよなか国際交流協会の6団体が共同運営している事業。

受賞歴

- 2016.10 大阪NPOセンター CSOアワード CSO賞
- 2014.01 第13回大阪弁護士会 人権賞
- 2013.05 憲法記念日 大阪府知事 公共関係功労者賞
- 2013.02 公益財団法人パナソニック教育財団 2012年度「子どもたちの“こころを育む活動”」奨励賞

◆ (公財)とよなか国際交流協会は指定管理者としてとよなか国際交流センターの管理・運営を行っています。

各事業からの報告

こども  
サポート  
事業

# 学習支援・サンフレイス

外国にルーツを持つ子どもたちのための居場所づくり。大学生ボランティアが運営しています。  
毎週日曜日 13:00~15:00 (第一日曜日は休み)



ボランティアより

## 2017年度を振り返って

サンフレイスのボランティアはいつも子どもたちの傍にいます。

“外国にルーツを持つ子ども”を対象として、と言っても子どもたちは一人ひとり違います。その日やりたいこともみんな違います。でも、サンフレイスではその“違い”をとでも大事にしています。思い切り自分のやりたいことが言える。そしてできる。それがサンフレイスです。今年度から新しいゲームやおもちも増えて、さらに新しい場所になりました。

学習したり、遊んだり、なんでもできる居場所で毎週元気な子どもたちと一緒に活動することが出来ました。

## 2018年度に向けて

2017年度は予定していた遠足が台風で中止になってしまい、大きなイベントが少なく子どもたちにちょっぴりさみしい思いをさせていただきました。が！今年は、昨年の悲しみを吹き飛ばすくらいたくさん遠足にも行きたいと考えています。ボランティアも頑張るので、みんないつでもぶら〜と来てネ！待ってるよ！



写真上) ゲームをしたり、ビリヤードや卓球をしたり、宿題をしたり、思い思いの時間を過ごします。  
写真下右) 夏休みの恒例イベント・そうめん流しを母語とサンプルと合同でやりました  
写真下左) 子ども・若者事業のボランティア、コーディネーターで合宿を行いました@河内長野

こども  
サポート  
事業

# こども母語

外国にルーツをもつ子どもたちのための母語教室。中国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語を開講しています。  
講師はそれぞれのルーツをもつ若者です。  
第2、第4日曜日 10:00~12:00

ボランティアより

## 2017年度を振り返って

こども母語では、普段の教室に加えてブラジルのパステウ、中国の餃子、タイのパッタイ (番外編で韓国のトックも) を自分たちで作って食べたり、ペルーのサルサというダンスをみんなで踊ったり、中国の伝統的なおもちゃで遊んだりたくさんさんの“文化”に触れることが出来ました。また、同じクラスの仲間だけでなく、他の言語の仲間とも1年間を通じて仲良くなり、つながりが広がった年でした。

## 2018年度に向けて

もっともっとたくさんの子どもたちに「こども母語に行きたい！」と思ってもらえるように、楽しいイベントや知らなかったあんなことやこんなことを学べる場を作っていきたいと思っています。



写真上) 文字を書くだけでなく、体を使ったりしながら楽しく学んでいます  
写真下) 四言語の合同イベントで、餃子とパッタイ (タイの焼きそば) を作りました。





# こども サポート 事業

## 多文化子ども保育「にこにこ」

外国にルーツをもつ乳幼児のための保育活動。保育ボランティアが運営しています。  
毎週木曜日 13:30～15:30 / 金曜日 10:30～12:00

ボランティアより

### 2018年度に向けて

外国にルーツをもつ親子が、他の子どもと一緒にあそんだり、こどもと離れて日本語活動に参加したり、親同士やボランティアと話をしたり、本を読んだり、自分の時間を持つお手伝いができればいいと思っています。

### 2017年度を振り返って

多文化の子どもたちが一緒にセンター内のプレイルームで遊んでいます。年齢や国が違っても子どもたちの世界は同じです。言葉が通じなくてもアイコンタクトで話したり、少しずつ言葉を発するようになったり、日々の成長には素晴らしいものがあります。保護者が安心して預けられ子どもたちも笑顔で楽しく過ごせるよう心掛けています。



写真左) 仲良し二人、一休み  
写真右上) 保育ボランティアとのコマ  
写真右中) プレイルームには小さな遊具もあります  
写真右下) 大好きなレール遊び



# こども 国際 事業

## 韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

韓国・朝鮮にルーツをもつ子どもたちが集まり、民族講師（ソンセンニム）や友達（チング）と自分たちの歴史や言葉、遊びなどの文化を学んでいます。毎月第3土曜日午前中に開催。

共催団体の豊中市在日外国人教育推進協議会の先生方より

### 2017年度を振り返って

今年度も、多文化フェスティバルに「ことばとあそびのつどい」から、体験ブースを出しました。「ノリゲ」という韓国・朝鮮の組みひものブースでは、「つどい」の子どもたちが、たくさんの参加者の作品作りのお手伝いをしていました。また、ブースを飛び出して、「楽しい体験ができますよー！」と積極的にアピールをしていました。また、韓国・朝鮮のお手玉「コング」遊びのコーナーは、おとなも子どももとても盛り上がっていました。



写真上) ハングルを使ってのゲーム  
写真下右) 多文化フェスティバルでの「コング」コーナー  
写真下左) 第1回「つどい」開級式

### 2018年度に向けて

2018年度も、子どもたちが楽しめる内容を民族講師のソンセンニムと作っていききたいと思います。韓国・朝鮮にルーツのある子どもたちが安心できる居場所となるような「つどい」を続けていきたいと思っています。



多文化こども  
エンパワメント  
事業

## 若者支援事業

外国にルーツをもつ若者のための居場所づくりをさまざまな角度から行っています。(文化庁委託事業) 15歳以上の外国にルーツをもつ若者が中心となり、国際交流センターはもちろん、地域で色々な活動に取り組んできました。



コーディネーターより

### 2017年度を振り返って

今年度はイベントをもつ機会が少なく、「参加者がふらっと訪れる」ような感じから出発して、その日の場の中身を紡いでいくような1年でした。下記の来年度の抱負を意識しつつ、ふとしたやりとりのなかで、あるいは踏み込んで話しあったなかで、「無条件の生が肯定される」。そんな場でありたいと思っています。

研修会を開催しました。写真左)「日韓の間で考える表現の不自由」(講師:岡本有佳さん(編集者))  
写真上右)「居場所の可能性~富山"ひとのま"の実践に学ぶ」(講師:宮田隼さん)

写真下) 国際交流フェスタで挽き立てコーヒーを販売しました。



写真上) 外国にルーツをもつ若者キャンプを豊中市立自然の家 わっぱるでおこないました。当協会と、箕面市国際交流協会に集う若者たち含め、10人で1泊2日で行いました。自分たちの興味関心や、思ったことなどを語り合いました。

### 2018年度に向けて

場に多様性やメリハリ感をつける (「テーマに沿って話す場」「料理をつくる場」「イベントをしてみる場」など日でわけ) 2.スケジュールを見える化する、3.教科書ことばでない人権/権利を学ぶ、など。

多文化こども  
エンパワメント  
事業

## とよなかこどもにほんご教室

日本語学習が必要な子どものための日本語教室 (月曜日・木曜日 15:00~18:00、土曜日 14:30~17:30)  
(日本語指導者グループ「とよなか JSL」、とよなか国際交流協会が協働で実施)

とよなか JSL より

### 2017年度を振り返って

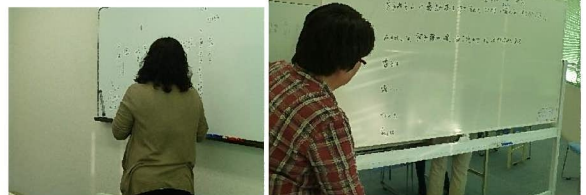
言葉は生きる力。外国ルーツの子ども達に、自らの力で進路を切り開いていける、また、学校や地域で、心から話せる友達ができる、そういう日本でしっかり生きていくための礎となる日本語の習得を目指して、集中して教えてきました。諸事情により、本年度3月をもって活動を終えることとなりましたが、これまで、何人もの卒業生が、高校、大学へと進学できる力をつけていってくれたことは、私たちの喜びです。



写真上) 先生方には毎年国際交流センターのひな人形を飾り付けしていただいています。  
写真右) 熱心に指導いただきました。

### 2018年度に向けて

私たちの授業の基となったメソッドというべき教案集が、今年、出版されます。外国ルーツの子どもたちと、その子たちにかかわるボランティアさん達が、いつかどこかで、役立ててくださることを願っています。





学校とつなが  
ってつくる豊かな  
未来事業

# 小学校外国語体験活動事業

豊中市のすべての小学校の3年生～6年生のクラスに、地域に暮らす外国人ボランティアを派遣して、ルーツのある国の文化や言葉を紹介しします。豊中市教育委員会の委託事業。

コーディネーター  
より



## 2018年度に向けて

2018年度は、活動に関わってくださっているボランティアへのフォローを充実させつつ、他事業にアプローチしながら新しいボランティアの発掘をしていきたいです。また、開始から10年以上が経過しているので、まとめの報告書を作成できればと思います。

写真上)子どもたちと楽しい時間を過ごすことができました。  
写真下)ボランティアの話に真剣に耳を傾ける子どもたち

## 2017年度を振り返って

外国語体験活動では2017年度も豊中市内の全小学校で地域に住む外国人サポーター56人が総数時間1200コマを超える授業を行いました。この活動では様々な外国語だけでなく、授業を行うボランティアの出身国の文化や遊びなどを紹介し、子どもたちに知ってもらうこと、出会うことを大切にしています。2017年度に子どもたちが授業を通して出会った国は25か国にのぼります。授業を行うボランティアにとってもこの活動を通じて小学校や地域、社会とつながる良い機会となっており、いきいきと活動に参加されています。

多文化こども  
エンパワメント  
事業

# 子ども学習広場「学楽多（がらくた）」

豊中市くらし支援課の委託事業として、市内2か所で子どもの学習サポートを行っています。  
@「しょうないガダバ」は毎週火曜日 17:00～19:00、@とよなか国際交流センターは毎週金曜日 17:00～19:00。

## 2017年度を振り返って

子ども学習広場「学楽多（がらくた）」は2年目となり、4月からスムーズに活動を開始することができました。8月には2回のボランティア養成講座を開催し、新たなボランティアの参加によって、より充実した支援体制となりました。子どもの人数も増え、学習意欲も高まりを見せています。また、料理活動、カード遊び、物作り等を通して、大切な居場所として子ども同士のつながりも深まってきました。学習支援は「しょうないガダバ」と「とよなか国際交流センター」の2か所で年間計95回開催し、子どもが延べ420名参加しました。



大好きな料理活動：お気に入りのキャラクタークッキーを作っています



わかる喜びを感じ、学習するときは真剣勝負！



ボランティアがやさしく教えてくれます（@庄内）

## 2018年度に向けて

3名の中学生の高校進学をはじめ、子どもたちの学ぶ喜びと生きる力に結びつく体験学習を考案していきます。また、庄内とセンターの連携と交流の場を企画し、支援者と子ども達のつながりをつくりたいと思っています。

おとな  
サポート  
事業

# 多言語相談サービス事業

外国人市民が地域で安心して生活できるよう、必要な情報の提供と相談サービス（電話、面接）を多言語で行う。相談体制：金曜日 11 時～16 時 / 日本語、英語、フィリピン語、タイ語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、ネパール語

## 2017 年度相談実績について

2017 年度の相談件数は 952 件、前年度が 1,146 件だったため、前年度比 17%減だった。一昨年度とほぼ同件数となった。2016 年度中に、中・長期に渡る調停や訴訟ケースが一定終了したことが件数の増減の背景と考えられる。

相談者の居住地は、例年通り豊中市が最も多く、41.5%だった。センター事業の「利用者」からの相談は、例年通り豊中市民が多く、約 65%を占めた。大阪府下全域では 77.6%であり、この割合傾向は例年と変わらない。近畿の他府県以外の地域や海外など遠方から電話やメールでの相談が約 5%あった。

国籍は例年通りフィリピンが最も多く 40.2%。フィリピン語での相談が大阪ではほとんどないため、当方に集中していることに加え、継続対応が必要な相談内容が多い。長年実施してきているため、口コミで相談につながっている。次いで中国が 9.1%、ネパール 6.9%、韓国 5.1%、ベトナム 3.7%となっている。在住人口が増加しているネパール、ベトナムは相談でも増加傾向を示している。日本国籍者からの相談も多く、12.2%を占めている。

日本国籍だがルーツが日本以外の方は 76 件（約 8%）だった。日本国籍で使用言語が日本語以外の相談は 22 件、外国籍だが日本語で相談を行ったのは 399 件で（約 42%）、そのうち相談対応言語以外の言語を公用語（母語）とするものは 53 件、15 か国語だった。日本語で対応した相談は、日本語での会話が可能で、プライバシーを守りたいために、あえて日本人スタッフへの対応を求めたものと、関係機関との連携によるものが多かった。国籍は 38 か国に及んだ。

在留資格は定住者 25.7%、永住者 15.7%、配偶者 10.3%だった。

職業では介護職が 18.3%、介護職以外のパート・アルバイト（工場勤務等）が 13.9%、学生 8.2%、無職（主婦を除く）が 7.8%だった。学生は主に中高生の相談である。無職の約半数は生活保護受給者で、就労者はほぼ非正規労働者である。

1 4版 2017年(平成29年)4月27日(木)

## 配偶者が署名偽造 保険書類とだます



日本の協議離婚制度に活用できる英語、フィリピン語、韓国語、ベトナム語を必要とするリーフレット

# 知らぬ間に離婚届

## 制度悪用 外国人被害

外国人の相談支援に取り組み民間団体に「日本人配偶者に無断で離婚された」という相談が相次いでいる。離婚届に書き込むだけでなく、子どもの親権を定められ、夫婦双方の意思を直接確認しなくても届を受けると日本の協議離婚制度は世界的に珍しく、外国人に知られていないとみられる。支援団体は多言語での相談の仕組みについて注意を促すリーフレットを作成し、今週から配布を始めた。反橋希美（写真も）

**支援団体がリーフレット**

リーフレットを作成したのは、届を役所に提出し成立する。は、公設団法人とよなか国際交流協会（大阪府豊中市）など、関西の7団体や弁護士、大学教授をつくるグループ「リコン・アラート」。2年前から事例の研究や防止策の検討を続けてきた。

離婚全体の約9割を占める。親権者も決まるとは知らずにサインしたなどの例がある。勝手に出された離婚届を無効にするには裁判手続きが必要で、日本語に不自由な外国人には負担が重い。

被害に遭った外国女性には、子どもの親権者をたずねられ、子どもを会えなくなると言われる。昨年、無断離婚に関する相談を延べ、00件に達した交流協会の言語案内相談員は「一方的に離婚された方が負担を強いられるのは理不尽で、子どもの権利も守られていない」と憤る。

リーフレットでは勝手に届を出さず、不受理申請制度を受け、離婚届の内容も紹介、▽日

**紙一枚親権も奪われ**

「たった一枚の紙が人生を変えました。西本在住の30代外国人女性は嘆く。2005年に日本人男性と半前に離婚届を申し立てたが、決められた日、男性は現れず、調停員から「離婚は成立している」と言われた。取り寄せた戸籍簿で、男性が親権者を自分にして離婚届を出していたことが分かった。帰宅後、言い争いから男性は女性に激しい暴力を振るい、警察に訴えた。女性はシングルマザーで保護された。この訴えは聞き入れられず、子どもたちは児童相談所で保護された後、親権者の男性側へ引き渡された。

女性は離婚無効を認める調停を起したが、夫に「調停を取り下げれば子どもに会わせる」と言われ、子どもを心配するあまり取り下げることになった。だがその面会後も1カ月前から途絶えた。

女性は「私は絶対に離婚届にサインしない。子どもたちが心配」と声を詰まらせた。

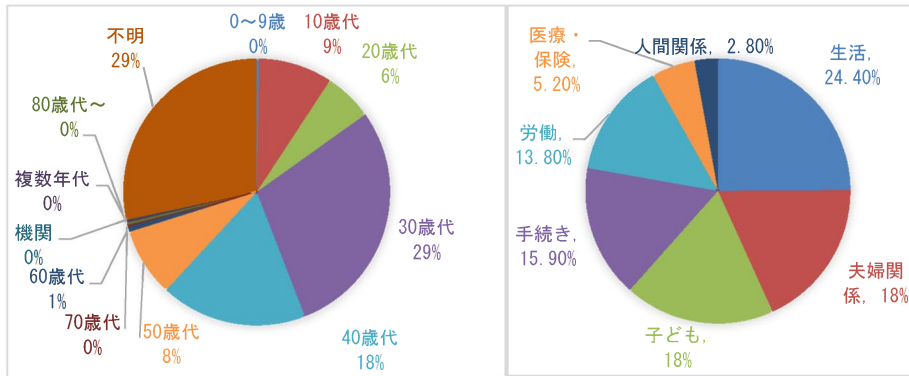
**他国にない制度**

二宮周平・立命館大教授（家族法）の話、日本の協議離婚制度は一方的な届提出が可能という、他国にない特殊な制度。子どもが不利を被らないよう、国が責任を持つべきという。多言語での情報提供や相談対応を進めたい。

写真) 2017 年 4 月 27 日毎日新聞にて、当協会が代表事務所となっている「リコン・アラート（協議離婚問題研究会）」の取り組みが掲載されました。

※リコン・アラートの構成団体：RINK、神戸外国人救援ネットワーク、京都YWCA/APT、いくの学園、ヒューライツ大阪、箕面市国際交流協会、大阪府国際交流財団、シナビス、二宮周平さん（立命館大学）、外国人ローヤリングネットワーク。  
※勝手に離婚されないための啓発パンフレットと動画を 11 言語で作成し、2017 年 4 月から配布・配信しました。ウェブサイトから動画、パンフともダウンロードできます。  
<http://atoms9.wixsite.com/rikon-alert>





2017 年度相談者内訳 年代別

相談内容別



協会の日本語ボランティア有志で結成された「日本語支援グループ・むすびめ」との共催で日本語能力試験を受験する人のための個別サポートを実施して、就労やキャリアアップをめざす方をサポートしています。

年2回実施される試験にあわせて、4月～6月、9月～11月に毎週火曜日にサポートを実施しています。今年は10人のボランティアが14人の学習者をサポートしました。



フィリピン人向けの学習会「フィリピン人の離婚と再婚～法的要件と手続き」を開催。講師は弁護士の甲斐みなみさん、弁護士のジェフ・プランテリヤさん、フィリピン総領事館から副領事のシャーリー・O・ヌエヴォさん。活発な議論が展開されました。

外国人のため健康セミナー&個別健康相談をNPO法人CHARM、豊中市保健センターの協力を得て開催。セミナーは「子どもの生と性を考える」をテーマに、昨年引き続き北野真由美さん(えんばわめんと堺/ES)からおとな向け/子ども向けにお話し頂きました。

### 2018 年度に向けて

- ・外国人利用者の交流イベント創出（国を限定せず、単発で、参加しやすく、職員とも交流でき、みんな楽しめるイベント）
- ・「リコン・アラート」継続（出版も企画中）
- ・外国人等マイノリティのための保証人協会、外国人の裁判・弁護士利用促進にむけた協議会などの立ち上げについて「夢」を語り合いたい。
- ・医療や通訳サービス会社との協働の可能性を探り、豊中市内の医療機関の外国人利用向上をはかりたい。
- ・引きつづき、人材育成をはかりたい。

## 【相談サービス事業における対応について】

### (1) ケース・ワークと他機関とのネットワーク（連携）

相談者の状況や相談内容が、諸制度を利用して問題の解決をはかる必要がある場合、ケース・ワークを行う。

豊中市在住の相談者について、相談者が他機関に関わっている場合、あるいは問題対応に他機関との連携が必要な場合は、関係機関で情報を共有したり協力するなど、より適切に対応できるようにする。

ケース・ワークが必要だが、相談者が遠方に住んでいたりと、当協会が直接の関係機関として関与しえない場合などは、相談者が住む地域の援助機関と連携をとる。その地域で多言語の援助がない場合は、スタッフが相談者に対し、彼/彼女の状況を説明したり、相談者の希望や考えを援助機関に伝えるなど、仲介的役割を担う。

他機関では多文化対応が不十分な場合があるため、相談者の状況についてスタッフが機関に説明し、適切な対応を依頼する。また相談者は、どのような支援が受けられるか十分理解できないことが多いため、スタッフが相談者の母語で説明し、相談者の安心や納得を促す。その地域で多言語対応が可能な場合でも、相談者がスタッフへの相談を望む場合は、相談者の不安を支え、相談者が適切な支援を受けられるよう支援する。

### (2) 心理カウンセリング

相談者の悩みや問題について、相談者自身の内面に焦点を当てる必要がある場合は、心理カウンセリングを行う。相談者が自分の内面に目が向けられるよう、受容・共感・承認的応答を行い、自分の気持ちや考えに気づき、自分なりの決定や選択ができるよう支援する。

### (3) 情報提供等

日常生活における情報や、行政手続等に関する情報など、相談者が法・制度や地域情報等を知らなかったり、理解していない場合は、情報提供する。

例) 公営住宅の申込み、交通事故の対応、病院の情報、健康診断の結果について、確定申告、求職時の書類記入等

### (4) 安心して集えるコミュニティづくり

センターでの他事業を利用する来館者に対し、同国・母語の仲間と出迎え、安心できる環境を提供する。コミュニティ内で集う人が安心できるようなコミュニケーションに注意したり、ニーズに対応するなどを行った。必要であれば、随時個別相談として対応し、また逆に、相談に訪れた人に出会いの場へ促すなどを行った。

学校とつなが  
ってつくる豊かな  
未来事業

## 国際教育

「多文化フェスティバル」、帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業での「多言語による進路相談会」など、学校や教育委員会との連携により、外国にルーツを持つ子どもたちをサポートしています。

### 2017年度を振り返って

「国際教育推進協議会」との共催で実施した「多文化フェスティバル」では、センター内外で活動する多様な子ども事業のブース出展があり、多くの参加者が様々な文化を楽しみました。また、豊能ブロック協議会の構成団体として帰国渡日児童生徒のための「多言語進路ガイダンス」を開催しました。高校入試制度や進学後の生活の説明は外国にルーツを持つ児童生徒の進路保障の貴重な場となりました。その他に「ルーツ教員研究会」に関わりました。



写真)「多文化フェスティバル」でラップを披露するネパールの高校生。

### 2018年度に向けて

「多文化フェスティバル」では外国にルーツを持つ子どもが出会い・つながる仕組み作りを、「多言語進路ガイダンス」では子どもの進路保障のために内容を一層充実させていきます。「ルーツ教員研究会」では秋以降に出版及び報告の場を設ける予定です。

おとな  
サポート  
事業

## Filipino Young at Heart's Club (FYAHC)

NEW

2016年度に(公財)大阪コミュニティ財団の助成を受けて実施した外国人高齢者の調査をふまえて、相談サービスで利用者が最も多いフィリピン人を対象として、40歳以上の中高年向けの居場所を2017年5月から「Filipino Young at Heart's Club」として毎月1回開催しています。

### 2017年度を振り返って

日本において、外国人の高齢化率で最も高いのは韓国・朝鮮籍の24.4%です。しかし45歳～64歳の「高齢者予備軍」の年齢層を見ると、フィリピン、ブラジルや台湾、米国では各々の約3割を占めており、今後日本では外国人高齢者の多様化が進むと考えられます。

2017年5月にスタートしたFYAHCでは、ビンゴゲームや軽食の交流、日本の年金制度や雇用に関する勉強会、健康体操(ズンバ)、クリスマスパーティなどを行いました。



### 2018年度に向けて

引きつづき、日本に暮らす仲間と出会い、生活情報を交換し、学びあう場を継続して創出していきたいと考えています。

写真上)クリスマスパーティは若い世代や子どもたちも参加して大盛り上がり!

写真下左)豊中市消防局の救急救命講座。

写真下右)フィリピンでも流行中の健康体操「ズンバ」も大人気です。心と体をリフレッシュ!





おとな  
サポート  
事業

# 防災事業

自然災害の多い日本で外国人が安心して暮らせるように、大規模災害時の外国人支援につながる啓発活動を行い、災害時の支援体制を整備していく取り組みを各機関と連携しながら行っています。

## 2017 年度を振り返って

今年度は大阪府国際交流財団の協力により、災害時多言語支援センターの設置マニュアルについてワークショップ形式で学びました。東日本大震災や熊本地震の事例の話から、今後、検討・準備しなければならないことが明らかになりました。また、市内各地域で実施されている防災訓練にもオブザーバー参加しました。

地域に暮らす外国人が災害時に安心・安全に避難するために必要な準備について、具体的に考える年となりました。



写真) 災害時多言語支援センターの設置訓練の様子

## 2018 年度に向けて

災害時に多言語支援センターをスムーズに設置・運営できるよう、大阪大学など地域の教育機関との連携体制を確立します。また、実際に豊中市内の各地域での多言語対応についても準備を進めます。

こども  
国際  
事業

# 平和と共存のための～おまつり地球一周クラブ

小・中学生のための国際理解プログラム。地域に住む外国人を講師に迎えて交流しながら、様々な国、地域について学びます。月1回程度実施。

## 2017 年度を 振り返って

様々な国出身の方を講師に招き、遊び、料理、ゲーム等の体験を通して、その国の文化について学びました。全8回のうち3回は韓国・朝鮮文化を知るシリーズを行いました。子どもたちは積極的に質問をしながら体験をし、講師は自分の文化を語りながら楽しそうに子どもたちと関わる姿が見られました。

## 2018 年度に 向けて

今年度も好評だった「調理実習」や「体を動かすプログラム」、その他「お出かけプログラム」等も取り入れて、多様な角度から異文化体験ができるよう企画検討したいです。

フィリピンの伝統的なクリスマスの飾り「パロル」を作るイベントが23日、豊中市内で開かれ、小学生ら約20人が参加した。とよなか国際交流協会が主催。子どもたちは、同協会のボランティアで母がフィリピン出身の大阪大4年、藤見愛香さん(左)から指導を受けながら、竹ひしを輪ゴムでくくりつけて星

## 比のクリスマス 豊中で飾り作り

形とし、色とりどりの画用紙などを取り付けて作りあげていった。写真。箕面市立南小4年、柴田音季さん(左)は「少し難しかったけど、流れ星みたいなカラフルなパロルができた。家のクリスマスツリーに飾りたい」と笑顔で話していた。



写真左) フィリピンのクリスマス飾りパロル作りが読売新聞に掲載されました(2017年12月24日)  
写真上右) 韓国の遊び(コンギ)体験  
写真上左) モロッコ出身の講師と一緒にアラビア文字ゲーム  
写真下) ベナンのローカルフード「ガリ(材料はキャッサバ粉)」作り





留学生  
ホストファミ  
リー事業

# 留学生・ホストファミリー事業

留学生とホストファミリーのホームビジット型の交流活動。半年から1年にかけて交流しています。運営は「ホストファミリー世話人会」が中心になって、様々なイベントや日本文化体験事業も開催しています。



毎年恒例の万博記念公園での交流会



淀川花火大会鑑賞での一コマ



上) 万博交流会、ゲームで盛り上がっています。  
左) 留学生も手巻き寿司づくりにチャレンジ!

世話人会より

## 2017 年度を振り返って

ホームビジット型のホストファミリープログラムです。留学生の日本滞在中、月1~2回程度の交流が大半です。しかし帰国後も留学生が旅行等で再来日したり、またホストファミリーが結婚式に招待されたり、あるいは観光を兼ねて訪問したりと交流が引き続き長く継続されるケースもあります。これもひとえにホストファミリーが留学生を家族の一員として受け入れ、お互い理解し合えた結果です。国家間の関係は時に難しく良好でない場合でも、異文化を尊重し個人レベルで国際交流が一層広がっていけば、と思います。

## 2018 年度に向けて

ホームビジット型のこのプログラムを多くの人に知ってもらい、国際交流の入り口に入ってもらえる機会を今まで以上に広報・提供していきたいと思ひます。



大阪大学卒業式



# にほんご 交流活動 事業

## しょうない・おやこでにほんご

子育て中の外国人女性のための居場所づくりを市立図書館との共催で行っています。  
毎週火曜日 10:00~12:00 (会場：庄内図書館)



写真右) インドネシアのお母さんによるイスラムのストールの巻き方レッスン  
写真左上) ハロウィンでピニャータ！  
写真下) 図書館の人がうちわ作り体験を行ってくれました

ボランティアより

### 2017 年度を振り返って

2017 年度のおやこの活動で公民館のイベントに参加することが定着してきました。こういった地域のイベントに参加する事は、地域の人たちに喜んでもらえる催し物を考えることで、ボランティアと外国人お母さんと団結出来る良いきっかけとなるからです。

また、こういったイベントで外国人お母さんの居場所があるという事をもっと知らせてあげられたらと思います。

### 2018 年度に向けて

2018 年は新しい試みとして、活動中に色々な国の子ども向け音楽や会話 CD を BGM として流すことにしました。自然と子ども達の耳に色々な国の言語が入って良い体験になるのでは？と外国人お母さんが提案してくれました。

# にほんご 交流活動 事業

## おかまち・おやこでにほんご

子育て中の外国人女性のための居場所づくりを市立図書館との共催で行っています。  
毎週火曜日 10:00~12:00 (会場：岡町図書館)

### 2017 年度を 振り返って

今年度も各国のお料理会や季節のクラフトなど、様々な活動しながら沢山のおしゃべりに花が咲きました。お知り合いに外国人ママはいらっしゃいませんか？ 気軽に参加できる場所があることを是非ご紹介ください。

ボランティアより



写真上) お誕生日会などのお祝いをしました  
写真下左) 書き初めや季節のクラフトなどをしました  
写真下中) 赤ちゃんも一緒♡  
写真下右) 外国人ママにお料理を教えてもらったり、お弁当作りにも挑戦

### 2018 年度に向けて

引き続きボランティアも外国人ママも心置きなく集える場所となるよう活動していきたいです。





にほんご  
交流活動  
事業

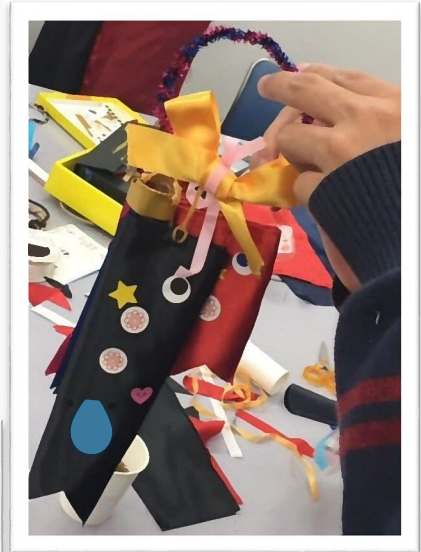
# せんり・おやこでにほんご

子育て中の外国人女性のための居場所づくりを市立図書館との共催で行っています。  
毎週火曜日 10:00~12:00 (会場：千里図書館)

2017 年度を振り返って

外国人ママと同じ立場で、外国人ママが直面している問題に共感し、また解決を図ることができました。私たちスタッフにとっても、最新の子育て情報を得る良い機会になりました。外国人ママの出身国を知ることができたり、ママの特技を活かせるイベントを実施し、外国人ママの人柄や事情をスタッフ全員で共有していきたいです。スタッフ主体ではなく、外国人ママをも巻き込んで楽しい企画を考えていきたいです。

ボランティアより



2018 年度に向けて

情報共有体制やスタッフの負担軽減・平等負担を考え、できる人ができることを頑張り、無理をしないことを大切にしたいです。長くこの活動を続けていくための体制を作っていきたいです。



写真上左) セタで浴衣の着付けをしました  
写真上右) こどもの日にちなんで、こいのぼり作成  
写真下) いろんなおにぎりをつくりました。

にほんご  
交流活動  
事業

# 千里にほんご NEW

2017 年度からスタートした日本語交流活動。千里地域連携センターとの共催で、豊中市東部・千里地域での外国人の居場所、交流の場づくりを行っています。毎週木曜日 10 時~11 時 30 分。(会場：千里公民館、千里図書館)

2017 年度を  
振り返って

場所は千里図書館と公民館、千里地域連携センター共催という「強み」を生かした活動ができました。月 4 回の学習機会の確保、子どもの見守りボランティアの導入、また UR 団地の外国人居住者支援イベントにも参加しました。国流の他事業との連携もあり学習者の幅広い生活、日本語学習支援ができました。

ボランティアより



2018 年度に向けて

来年度は 2 年目です。まず、活動を広く知ってもらい、同時にボランティアのスキルアップをしていきたいです。学習だけでなく、季節の行事に関するイベントを取り入れて、活動内容の充実にも力を入れていきます。

写真右) ママは学習、ぼくはおもちゃ。いっしょだから安心。  
写真左) 活動を振り返るワークショップを開催



にほんご  
交流活動  
事業

# もっともっとつかえるにほんご

日本語交流活動。毎回テーマを設定しての教室形式で実施しています。学習者にはそれぞれボランティアがサポートにはいり、個別対応もしています。毎週月曜日 10:00~12:00

2017 年度を振り返って

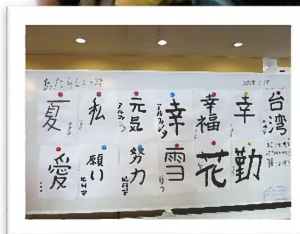
ボランティアメンバーが、それぞれテーマや内容を工夫して講座を行っているのですが、毎回の学習が活動のハイライトになっています。例えば、腹話術パートナーの“だいちゃん”が参加したり、年賀状や書初めを体験したり、年末には懇親会を開催し日頃の学習時には聞けない学習者の思いを聞くことができました。「共に学ぶ」を大切にすることで、学習者同士や学習者とボランティアの交流も深まり、継続率も高まってきていると感じます。

ボランティアより



2018 年度に向けて

学習者同士が日本語で会話をしたり、学習者がボランティアや他の学習者に説明や質問をするような機会を増やして、学習者にもっともっと日本語を使ってもらえるようにしたいと思います。



写真上) アシスタントの大ちゃんが参加の学習は大人も楽しい！  
写真下左) 書き初め、初体験でも堂々とした立派な字が書けました。  
写真下右) 年賀状独特の言葉を書いて体験、初めて書くことがいっぱい楽しそう。

にほんご  
交流活動  
事業

# とよなかにはほんご・木ひる

日本語交流活動。レベル別、目的別でのグループ活動です。同じ時間帯に多文化保育もあるので子連れでも OK! 毎週木曜日 13:30~15:30

2017 年度を振り返って

グループ学習で前半・ティータイム・後半の三つに分けています。前半は習熟度別、後半は学習者の希望による選択。ティータイムではグループ以外の人達とも交流し情報の交換もします。お国のお菓子の差し入れもあります。年 4 回発行の情報紙「ちょっとほっと」では帰国した学習者の便りなども楽しみです。年一度のお料理会、ポットラックパーティ、遠足、お抹茶の会など学習者との交流を通して私たちも学ぶことが多い活動です。

ボランティアより



2018 年度に向けて

月 2 回の全体ミーティングで学習者やボランティアの情報を共有して学習者の希望に気づき、継続して学習に来てもらうような工夫をしていきたい。(学習者への参加証の作成)

写真上) 3月29日 木ひるのイベントで万博公園にお花見に出かけました。お天気は快晴、桜は満開。みんなお弁当やおやつをもって 51 名参加 (学習者の乳幼児含む)  
写真下右) 12 月最後の木ひるはポットラックパーティ。みんな食べ物しか見てませんね～  
写真下中) お母さんといっしょに日本語がんばってます！チェンさんと娘さん  
写真下左) 赤ちゃんは丸尾さんにあやしてもらって、笑顔で勉強中のロナさん





にほんご  
交流活動  
事業

# とよなかにはんご・金あさ

日本語交流活動。同じ時間帯に多文化保育もあるので子連れでも OK!  
毎週金曜日 10:30~12:00

ボランティアより



## 2017 年度を 振り返って

ボランティアが学習者 1 人から 3 人を担当し、学習者の生活を考え、必要と思われる日本語を獲得するお手伝いをしています。

月 1 回のミニ交流会は、お互いの文化を知り合う機会になり、楽しい時間になっています。

## 2018 年度に向けて

日本の文化を知って頂く活動はしっかり行っていますが、学習者の国のことを積極的にアピールして頂く時間をもっとあってもよいかなと思います。より積極的な活動を展開していきたいです。

写真上 2 つ) CC スペースでの学習風景  
写真右) 会議室 2 での学習風景 広い会議室がいっぱいになるくらいの人数です

にほんご  
交流活動  
事業

# にちようがちゃがちゃだん

平日働く人たちも参加できる日本語交流活動。参加者のさまざまなニーズに対応しています。  
毎週日曜日 10:00~12:00 (第一日曜日は休み)

## 2017 年度を振り返って

日本語学習を通じ、学習者が安心して参加できる居場所作りを心がけてきました。ボランティアは学習者の学習目的に合わせた学習内容に応えるべく学習毎に努力しています。ボランティアの努力結果として前年度比約 2 倍の学習者の参加数で推移しています。また、学習のみの交流だけではなく、年末の「料理交流会」や年度末の「お茶会・ビンゴ大会」等のイベントも実施しました。学習者とボランティアのより一層の相互信頼を構築したいとの目的です。学習者の笑顔を見ることがボランティアの最大の喜びであります。

・家族と離れ日本で技能を身につけるためにやってきた外国の若者に、日本語学習のサポートや会話をしてお互いの国の文化を楽しく交流するなどしています。そのまじめでひたむきな姿は感動的です。

ボランティアより



## 2018 年度に 向けて

2017 年度、ボランティアの努力で「種」を蒔きました。2018 年度は「幼木」をもう少し大きく育てよう努めたいと願っています。



写真上) 学習風景  
写真中) 料理交流会  
写真下) お茶会



多文化共生推進事業

# 多文化共生推進事業

日本人/外国人のために、参加しやすく、異文化理解を促進する様々な取り組みをおこなっていきます。



写真左) 外国人のための武道体験 (空手)  
写真上) 外国人のための日本料理体験の様子。出汁をとってお味噌汁や筑前煮を作りました



## 2017 年度を振り返って

食を通じた国際理解「世界を食べよう」では、外国人むけ日本料理体験を初めて開催し、大変好評でした。外国人向けの講座としては、このほか茶道体験や、昨年に引き続き (公財) 豊中市スポーツ振興事業団との共催で武道体験 (空手、剣道、合気道) を開催しました。「国流シネマカフェ」も 2 年目となり、リピーターも含めて毎回多くの参加があり、事業として定着してきました。

## 2018 年度に向けて

料理や茶道、武道といった文化体験、映画を通して、外国人と日本人が出会ったり、文化や歴史への理解を深める場となるよう、特に広報活動に力を入れていきたいと思いま

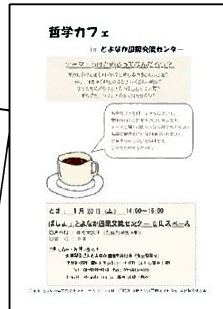
持続可能な人づくり事業

## ボランティア養成・研修/哲学カフェ

- ・時代に則した学びの場、および対話の場を創造し、多文化共生社会をつくる人づくりを行っています。
- ・哲学カフェ (大阪大学臨床哲学研究室の協力、カフェフィロとの共催)
- ・日本語ボランティア養成講座の開催 (年 1 回)

### 2017 年度を振り返って

哲学カフェでは、「治る」「うまれる」「受けとめる」という 3 つのテーマについて、ゆっくりと話し合い、考えを深めることができました。また、新たに進行役を引き受けてくれる学生ボランティアが登場し、新鮮な風を届けてくれました。他、今年度は沖縄をテーマとして「学びほぐしセミナー」を連続開催し、多くの方と沖縄が抱える課題についてともに考える機会となりました。



### 2018 年度に向けて

#### 【哲学カフェ】

協会のミッションや大事にしているものを考えに入れながら、一つ一つテーマを決めていきます。「女性のための哲学カフェ」も、さらに工夫して開催できればと思っています。

#### 【ボランティア研修】

今後も人権、国際にかかわる様々なテーマを取り上げ、参加していただきやすい企画をつくっていきます!



文公輝さんによるレイシャルハラスメントの講義 (日本語ボランティア養成講座)



学びほぐしセミナー第三回の講師



持続可能な  
地域づくり  
事業

- ・持続可能な開発のための教育の10年(ESDとよなか)
- ・メディアリテラシー市民ゼミナール・講師派遣
- ・EPA介護福祉士候補者のための日本語・海外体験学習

NEW

【ESDとよなか】国連持続可能な開発のための教育の10年(2005年～2014年)の理念に基づき、次世代に渡す地域づくりのための多様なセクターが連携するための取り組み。【メディアリテラシー】メディア分析を通じて「外国人・日本人」の捉えられ方、考え方を見直す参加型の講座。【講師派遣】地域の学校・諸団体への講師派遣。【EPA日本語】介護福祉士候補者のための日本語サポート

2017年度を振り返って

【講師派遣】今年度は市内外の学校をはじめ、人権研修などにのべ65件、99人が各機関に出向きました。

【ESDとよなか】豊中市と市民活動中間支援団体によるESDとよなか連絡会議(※)を行い、各団体の取組状況の共有、課題や連携についてミーティングを行いました。

【メディアリテラシー】講座では、テレビやネット動画などの映像メディアが提示する「外国・外国人」像を分析し、クリティカルな思考やマイノリティ市民の視点の重要性を学びました。

【EPA介護福祉士候補者のための日本語】日本では2008年から、EPA(経済連携協定)の枠組みで多くの外国人介護福祉士候補者(以下候補者)の受入れが始まりました。豊中においても、現在も多くの介護施設でインドネシアやフィリピンから来日した候補者が活動しています。昨年12月より協会は、日本語ボランティアの協力を得て介護福祉士候補者のための日本語指導グループ「EPAST(EPA Support TOYONAKA)」を結成し、市内の介護施設と連携して、介護福祉士国家試験対策と共に、業務上の日本語習得および日本語検定試験のサポートを行っています。

【海外体験学習】

2017年11月に2泊3日で、『韓国事情をさぐる』をテーマに「近くて遠い国」と言われ続け、何かと課題の多い日韓関係を解きほぐす旅をしました。①不可逆的「従軍慰安婦」問題から過去をさぐる(戦争と情勢の人権博物館)、②地方参政権課題を通して現代をさぐる(弘益大准教授の講義)、③多民族共生社会の未来をさぐる(移住背景青少年支援財団と多文化家族支援センターと多文化特区村)三つの課題について、現地案内人の方々から様々な視点と深い学びを得ることができました。参加者は9名で2泊3日の濃厚な旅をたっぷり満喫して帰ってきました。

2018年度に向けて

【講師派遣】今年度も積極的に多文化共生・協会事業について発信していきます。

【ESDとよなか】ESDとよなか連絡会議の課題である「誰もが住みやすく、持続可能な社会(地域)づくりの推進」に沿って、様々な事業を計画・実施します。

【メディアリテラシー】リピーターもふくめ、より多くの方に参加してもらえるようなテーマを考えていきたいです。

【EPA日本語】日本語のみならず、候補者が日本で安心して仕事や生活ができるようサポートをしていきたいと考えています。



市内介護施設と連携して、EPA(介護福祉士候補者)のフィリピン人3名をサポート中です。



メディアリテラシー講座「テレビの向こうの外国人」のようす



豊中市美化啓発事業に参加して、駅前清掃を行いました。

コモとスースのポストカードセット(5枚入り、200円) 事務所にて大好評販売中!



海外体験学習@韓国：多文化家族支援本部前、参加者と案内人の方々

※ESDとよなか連絡会議：赤ちゃんからのESD、市民環境会議アジェンダ21、人権まちづくり協会、国際交流協会、男女共同参画推進財団、社会福祉協議会、教育委員会(地域教育振興課)、環境政策課、千里文化センター、人権政策課が構成メンバーのゆるやかなネットワーク。



市民活動  
協働事業

# 市民活動協働事業

様々な市民団体、中間支援組織と共に、多文化共生のまちづくりをすすめるための協働事業を実施するとともに、市民主体の国際交流活動を促進するための相談、および支援をおこなっています。

## 2017年度を振り返って

「市民活動共同デスク」「しょうないREK」など中間支援組織のネットワークで情報共有、発信をしています。しょうないREKでは、庄内地域で多言語進路ガイダンスを行いました。ほかにも地域の国際交流市民団体への支援、協働を行っています。今年も秋に「とよなか国際交流フェスタ」を実行委員会形式で実施し、国際交流・多文化共生に関する市民活動の発信を行いました。

## 2018年度に向けて

中間支援組織の連携をより一層促進して、協働で市民向け事業等を進めていきたいです。また、市民団体との協働も進め、豊中市内の多文化共生・国際交流・市民活動を盛り上げていきたいです。



写真は「とよなか国際交流フェスタ」のようす。

施設管理  
受託事業

# 施設管理受託事業

豊中市からの委託をうけて、とよなか国際交流センターの貸室業務などの公共空間の管理、組織運営を行っています。

## 2017年度を振り返って

とよなか国際交流センターの利用者は84,755人でうち外国人利用者数は33,893人でした。視察受入（13件）では国際交流、多文化共生推進について全国各地から訪問がありました。とよなか国際交流センターの登録グループ（24団体）とは連絡会を持ち、実行委員会形式でイベント「とよなか国際交流フェスタ」を開催しました。地域のみなさんにセンターで活動する団体の活動や協会・センターの存在意義を再認識してもらった場となりました。



視察受け入れで岸和田市国際親善協会の皆さんにプレゼンテーション中

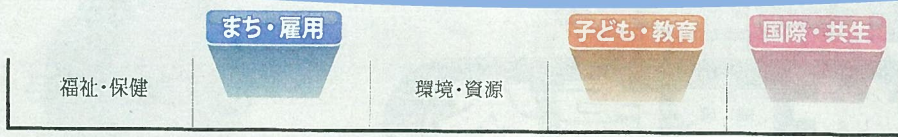
## 2018年度に向けて

2018年度はセンター・協会は設立25周年です。豊中市の国際交流・多文化共生の拠点として、施設の使いやすさ、安全性に加え、機関・団体の情報交換や交流の場、情報発信の場としての機能を高めていきたいです。



# TOPICS

## 外国にルーツをもつ子どもに関するネットワークを推進！



### 言葉、貧困、いじめ、就労…

外国にルーツのある子どもたちの課題や現状をまとめた「外国人の子ども白書（明石書店）」の出版をきっかけに、子どもの支援を考えるワークショップが4月10日、豊中市内であった。想定の人数を大幅に超えて当事者の若者を含む約140人が参加した。子どもの支援にかかわる市民や教員らは「個別の取り組みには限界があり、こんな場を求めていた」と連携を確かめた。

第一部「当事者からの発信」では、若者の立場から、フィリピン人の母親と日本人の父親の間に生まれたラホルテ雅樹さんが登壇し、「みんな悩みながら生きている。生きようよは、誰か個人の問題ではない。「人権」を本の中だけの言葉にせず、自分を大事にしながら社会を愛したい」と訴えた。大阪朝鮮高級学校の生徒は「二人はみんなのために、みんなは一人のために」と願って民族の文化や権利を学んでいる。「ワリハッキョ（私たちの学校）」は強い心を育てくれる特別な場所です」と発表し、大きな拍手を浴びた。

「外国人の子ども白書」ワークショップ

2017年度は外国につながる子どもの支援について、ネットワークが進んだ一年でした。

2017年4月、「外国人の子ども白書」という書籍が出版されました。周りでは「大阪の状況はどうか」「大阪ならではの取組やネットワークがあるのではないか」という声があり、大阪府内で外国につながる子どもの支援に関わっている団体に声をかけ、6月に実行委員会形式でシンポジウムを開催しました。その後、実行委員会メンバーで外国につながる子どもの支援に関するリーフレットを作成する作業を進めています。

# 悩み共有「社会変える」



「外国人の子ども白書」ワークショップ

第一部「当事者からの発信」では、若者の立場から、フィリピン人の母親と日本人の父親の間に生まれたラホルテ雅樹さんが登壇し、「みんな悩みながら生きている。生きようよは、誰か個人の問題ではない。「人権」を本の中だけの言葉にせず、自分を大事にしながら社会を愛したい」と訴えた。大阪朝鮮高級学校の生徒は「二人はみんなのために、みんなは一人のために」と願って民族の文化や権利を学んでいる。「ワリハッキョ（私たちの学校）」は強い心を育てくれる特別な場所です」と発表し、大きな拍手を浴びた。



「子どもの夢応援ネットワーク」は2016年秋から準備を行い、2017年7月に発足したネットワークです。2018年3月には「ともに生きるシンポ～多民族社会「日本」のこれから～」を実施しました。湯浅誠さんの講演、外国にルーツをもつ若者とのパネルディスカッションなど白熱した議論が展開されました。

当協会はどちらのネットワークにも構成メンバーとして参加しています。引き続き、外国につながる子ども・若者の支援に豊中だけでなく広域のネットワークも生かして取り組んでいきます。

「外国人の子ども白書」ワークショップ

第二部「専門家からの発信」では、側も孤立している「違いを尊重した」と願うのに、社会に排他的な空気が広がっている。「学校にも問題は多々あるが、何とかならないか」と、言葉が通じないメンバーや当事者、中高や大学教員などさまざまな立場から、日本語の教育や貧困、いじめ、就労などについて話し合った。報告が続いた。子どもたちの現場にかかわる個別の事例が次々と紹介され、会場は熱気に包まれた。

「外国人の子ども白書」ワークショップが2017年6月19日 毎日新聞大阪版にとりあげられました

「子どもの夢応援ネットワーク」で実施した、「ともに生きるシンポ～多民族社会「日本」のこれから～」の様子。湯浅誠さんの講演をはじめ、外国にルーツのある若者をパネリストに迎えたディスカッションで活発な話し合いが行われました。





## 1月に「新春のつどい」を開催



2018年1月28日に「新春のつどい」(@すてっぷホール)を開催しました。協会の取組について、より多くの人に知ってもらうこと、集った人の中で交流を深めることを目的としていました。当日はセンター・協会事業の関係者、その他の多くの関係団体の方々、市役所職員、議員（市議会、府議会、国会）、駐日領事など総勢約130名の参加がありました。各国のお料理あり、ステージでの出し物あり、「エトレ豊中」の店舗や地域の事業者の皆様にご提供をいただいたお楽しみ抽選会あり…盛りだくさんの2時間半でした。

※当日は在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館総領事 ブ・トアン・ハイ様、在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館領事 キエウ・マン・リン様、在大阪ロシア連邦総領事館領事 シュベツォワ・エレナ様、駐大阪大韓民国領事館領事 崔哲豪様、豊中市長浅利様、市議会議長福岡様等、多くの方からごあいさついただきました。ありがとうございました！

## パワーアップめざして、職員研修会



写真左) 門美由紀さんによる「ソーシャルワークの価値」について学ぶ研修会

写真右) 休館日に職員全員で協会の取り組みを振り返る1日ワークショップを実施@箕面・北芝

職員研修は今年度47回実施しました。テーマは様々でしたが、今年は特にソーシャルワーク（講師：大阪府立大学の山中京子さん、東洋大学の門美由紀さん）と、ハラスメント（セクシャルハラスメント、レイシャルハラスメント）について複数回学ぶ場を持ちました。ほか、相談対応にかかわる事業職員向けにグループ・スーパービジョンを毎月実施したほか、職員全員でミッションを共有した上で協会の課題や今後の取り組みについて語り合う機会を設けました。

## 事業評価会&ランチ交流会



3月には毎年恒例の市民参加型事業評価会&ボランティア交流会を開催し、事業ボランティア・関係者が58人参加しました。全事業の1年間の取り組みを「居場所・エンパワメント・ボトムアップの組織づくり」の視点から振り返り、次年度取り組むべき課題をまとめました。終了後のランチ交流会ではボランティアやスタッフ間の親睦をはかりました。

# 財務報告

## 正味財産増減計算書

2017年4月1日から2018年3月31日

勘定科目	(単位:円)			勘定科目	(単位:円)		
	当年度	前年度	増減		当年度	前年度	増減
1 一般正味財産増減の部				1 一般正味財産増減の部			
1. 繰越増減の部				1. 繰越増減の部			
(1) 繰越増減				(1) 繰越増減			
①基本財産増減部				①基本財産増減部			
基本財産受取利息	3,873,756	3,873,756	0	基本財産受取利息	56,556	60,546	△ 10,045
基本財産運用益	3,873,756	3,873,756	0	受取利息	1,880	18,778	△ 18,858
特定資産受取利息	52,700	24,500	28,200	雑収益	23,606	117,750	△ 84,750
特定資産運用益	52,700	24,500	28,200	災害等損失	217,136	674,997	△ 457,859
②事業収益				雑費	3,702	0	3,702
自主事業収益	1,776,295	1,656,980	119,315	雑損失	3,755	8,982	△ 5,227
事業収益	712,838	553,622	159,216	事業費	72,145,213	82,378,591	△ 10,439,078
事業収益計	2,489,133	2,210,602	278,531	②管理費用			
③委託事業収益				管理費用(管理)	736,185	1,062,924	△ 326,738
費中市指定管理委託料収益	61,632,000	61,632,000	0	臨時雇用委託管理	0	243,100	△ 243,100
小学校英語外国語指導員委託料収益(費中市)	4,508,991	4,734,417	△ 225,426	特別指導員(管理)	46,298	0	46,298
文化庁	1,100,944	1,368,597	△ 467,653	教育委員会(管理)	193,781	89,520	104,261
生涯学習支援事業委託料収益(費中市)	2,263,309	2,037,843	225,466	関係機関等(管理)	13,425	9,888	6,537
公益日本基督教団委託料収益(費中市)	0	2,267,380	△ 2,267,380	前年度繰上(管理)	22,417	16,115	6,296
委託事業収益計	69,305,244	72,240,437	△ 2,935,193	公益生活支援(管理)	145,291	121,013	△ 24,278
④受取補助金等				管理費(管理)	17,275	17,275	0
助成金(大阪国際交流財団)	0	0	0	保険料(管理)	99,850	99,850	0
その他助成金(大阪国際交流財団)	0	500,000	△ 500,000	経費(管理)	980,358	973,404	6,954
受取補助金計	0	500,000	△ 500,000	租税公課(管理)	15,829	11,065	4,764
⑤受取寄付金				委託料(管理)	16,509	0	16,509
受取寄付金	568,950	539,973	8,977	食料費(管理)	69,035	51,035	18,000
受取寄付金計	568,950	539,973	8,977	委託料(管理)	225,878	176,576	52,128
⑥雑収益				雑費(管理)	84,155	83,200	955
雑収益	100,268	59,434	40,834	文庫費(管理)	19,410	16,500	3,310
雑収益計	100,268	59,434	40,834	文庫費(管理)	1,892	513	1,379
⑦雑費負担				災害等損失(管理)	15,545	0	15,545
雑費負担	77,498,051	80,443,702	△ 2,945,651	⑧雑費負担			
⑧事業費				事業費(管理)	2,802,251	3,105,153	△ 302,901
給料手当	28,456,672	32,667,538	△ 4,200,919	管理費用(管理)	74,944,461	85,685,447	△ 10,740,986
臨時雇用費	5,383,096	6,306,899	△ 923,803	管理費用(管理)	2,565,281	△ 5,239,724	△ 7,798,979
福利厚生費	6,276,121	6,029,196	246,925	特定資産管理委託費	121,006	△ 70,104	191,110
旅費交通費	2,792,679	3,310,901	△ 518,222	出費繰上繰越	2,677,590	△ 5,309,535	7,587,438
通信運搬費	858,265	796,291	57,974	⑨繰越増減の部			
図書関係費	66,438	123,811	△ 57,403	繰越増減	0	0	0
自家用物品費	1,121,131	1,121,131	0	繰越増減	0	0	0
自用品費	1,349,701	2,928,720	△ 1,579,019	繰越増減	0	0	0
修繕費	0	0	0	繰越増減	0	0	0
印刷製本費	204,324	175,609	28,715	繰越増減	0	0	0
印刷費	174,491	71,569	99,922	繰越増減	0	0	0
水道光熱費	5,796,392	6,076,740	△ 280,348	繰越増減	0	0	0
賃借料	1,266,344	1,234,808	31,536	繰越増減	0	0	0
備前料	313,040	306,450	6,590	繰越増減	0	0	0
雑費	10,093,898	12,406,161	△ 2,312,263	繰越増減	0	0	0
租税公課	4,052,171	4,036,666	15,505	繰越増減	0	0	0
支払手数料	121,040	176,493	△ 54,956	繰越増減	0	0	0
支払手数料	0	0	0	繰越増減	0	0	0
支払手数料	3,662,352	3,579,240	83,112	繰越増減	0	0	0
雑費	943,590	382,870	610,720	繰越増減	0	0	0
支払手数料	6,334	6,074	460	繰越増減	0	0	0

## 財務諸表に対する注記

### 1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券

基本財産の投資有価証券は償却原価法(定額法)によっている。  
特定資産の投資有価証券は期末日の市場価格に基づく時価によっている。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

販売用図書

個別法による原価法によっている。  
当期末の残地棚卸残高に基づき計上している。

#### (3) 引当金の計上基準

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に帰属する額を計上している。

#### (4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

#### (5) リース取引の処理方法

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

## ◆ソーシャルグッド・プラットフォーム「gooddo(グッドゥ)」

社会課題に対して「NPO・NGO」「企業」「消費者」の3者が協力をしているソーシャルグッド・プラットフォーム「gooddo(グッドゥ)」に参加しています。消費者が、目的に賛同するNPOやNGOに寄付で支援できるもので、皆さんの毎日のワンクリックのご協力で、2017年度は支援金**69,755円**をいただきました！グッドゥは2018年1月末で終了しています。みなさんご協力ありがとうございました。





貸借対照表  
2018年3月31日現在

勘定科目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
① 現金預金			
小口現金	27,897	118	27,779
貸金用現金	31,100	22,240	11,860
普通預金	10,405,587	5,843,556	4,562,031
郵便振替貯金	9,000	3,000	6,000
財政調整定期預金	2,000,000	2,000,000	0
現金預金合計	12,476,584	7,868,914	4,607,670
② 棚卸資産			
販売用図書	416,311	486,484	△ 70,173
棚卸資産合計	416,311	486,484	△ 70,173
③ その他流動資産			
未収金	3,481,729	3,907,988	△ 426,259
前払金	54,000	94,800	△ 40,800
立替金	0	443,000	△ 443,000
その他流動資産合計	3,535,729	4,445,788	△ 910,059
流動資産合計	16,428,624	12,801,186	3,627,438
2. 固定資産			
① 基本財産			
基本財産預金	1,028,340	1,102,096	△ 73,756
投資有価証券	198,971,660	198,897,904	73,756
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
② 特定資産			
事業継続積立資産	0	1,505,118	△ 1,505,118
財政調整積立資産	10,282,906	11,163,851	△ 880,945
財政調整定期預金	0	0	0
特定資産合計	10,282,906	12,668,969	△ 2,386,063
固定資産合計	210,282,906	212,668,969	△ 2,386,063
資産合計	226,711,530	225,470,155	1,241,375
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	7,582,258	10,303,532	△ 2,721,274
前受金	472,000	428,000	44,000
預り金	805,910	1,170,947	△ 365,037
修繕預り金	342,688	353,008	△ 10,320
貸与引当金	1,485,866	1,662,950	△ 177,084
流動負債合計	10,688,722	13,918,437	△ 3,229,715
負債合計	10,688,722	13,918,437	△ 3,229,715
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
受取基本財産預金	1,028,340	1,102,096	△ 73,756
受取投資有価証券	198,971,660	198,897,904	73,756
受取寄付金	2,000,000	0	2,000,000
指定正味財産合計	202,000,000	200,000,000	2,000,000
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(10,282,906)	(12,668,969)	2,386,063
正味財産合計	216,022,808	211,551,718	4,471,090
負債及び正味財産合計	226,711,530	225,470,155	1,241,375

2018(平成 30)年 5 月 8 日

**監査報告書**

公益財団法人とよなご国際交流協会  
理事長 松本 康之 様

監事 榎岡 伸三 印  
監事 三浦 幸也 印

私たち監事は、2017(平成 29)年 4 月 1 日から 2018(平成 30)年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容  
各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からの職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な記録書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討しました。  
さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の複写を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について、検討しました。
2. 監査の結果  
① 事業報告等の監査結果  
○ 事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に反し、法人の状況を正しく示しているもの認めます。  
○ 理事の職務の執行に悪影響を及ぼす行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実を認められませんでした。  
○ 計算書類及び附属明細書並びに財産目録の計算結果  
計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益(正味財産増減)の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

**2017 年度夏季および冬季募金**  
**2,189,313 円**  
(27 人(個人) / 2 団体)

**その他寄付**  
**379,637 円**

**書き損じはがき、未使用フリカなどのリサイクルキャンペーン**  
**6,800 円(相当)**

**ご協力ありがとうございました**

いただいた夏季・冬季募金および物品は、「多文化子どもエンパワメント事業」に役立てさせていただきます。

皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。



**【ご報告】「多文化子どもエンパワメント事業」**

多文化子どもエンパワメント事業の一事業である「若者支援事業」では、外国にルーツをもつ人のなかでも、これまで対象事業の少なかった「若者世代」に対して、様々な活動を行っています。2017 年度は居場所づくり「たまりば」の活動(30 回、のべ 201 人)を継続するとともに、夜間中学校や定時制高校に通う若者を対象とした日本語支援(15 回、のべ 94 人)、若者に関わる支援者研修会などを実施しました。次年度以降も、上記に加え若者の就労を考える取り組みなど、当事者のニーズに沿った活動を続けていきます。ご支援いただいた皆様に心から感謝いたします。

# 協力者ご芳名

(2017年度分の賛助会費・2017年度内に募金・寄付金およびリサイクル寄付にご協力いただいた方々、敬称略、五十音順、過去に匿名希望だった方は今年も匿名にしています)

青柳 隆  
青柳 尚子  
秋山 真視  
有賀 千洋  
有田 進  
池亀 恭子  
石川 朝子  
石墨 方子  
石田 紀子  
石田 町子  
石原 さかえ  
井関 雅子  
井川 欽一  
一谷 亜由子  
伊藤 奏子  
伊藤 誠剛  
井上 佳子  
井上 良  
今井 貴代子  
井村 光恵  
岩崎 宏  
岩崎 裕保  
岩見 親男  
上田 幸子  
上間 紫織  
鶴飼 美知子  
鶴川 まき  
浮田 友子  
内海 弘子  
衛藤 ますみ  
榎井 縁  
老田 真理子  
種田 ゆみこ  
大池 裕子  
大久保 裕美  
大島 昭子  
太田 法子  
岡野 かおり  
岡本 紗代子  
岡本 慎雄  
荻野 悦子  
奥井 正光  
奥田 勝彦  
奥村 裕和  
小野 仁彦  
小野 慎太郎  
柿木 一孝  
梶浦 愛子  
片岡 祥恵  
亀山 映子  
川井 淑子  
川崎 亜希子  
河嶋 倫枝  
河田 知佳子  
木内 淑子  
菊池 優衣  
貴志 千恵子  
北側 佳恵  
北沢 史子  
北西 紗耶佳  
北村 澄子  
金 初美  
木村 隆夫  
金城 清美  
倉橋 真由美  
郡山 幸子  
郡山 基彦  
郡山 智代  
小島 和恵

後藤 澄江  
小西池 喜久子  
小松 明仁  
今野 さゆみ  
斎藤 美央  
榊原 礼子  
坂上 直子  
佐川 伸子  
崎原 卓  
崎間 寛  
佐々木 淳子  
佐藤 洋子  
棧敷 マリ  
柴田 亜希  
柴田 泰子  
島田 愛  
紫村 瞳  
城地 秀美  
新町 温美  
菅谷 洋平  
角田 卓也  
陶山 勢津子  
諏訪 しのぶ  
諏訪 美香  
関本 陽子  
園崎 寿子  
大源 文造  
高井 紀子  
高岡 奏子  
高木 香織  
高木 智志  
高田 明子  
高田 麻子  
高田 絵里子  
高原 マリカ・アリカ  
田上 浩  
滝村 恵子  
田中 敬三  
田中 恵子  
田中 正子  
谷口 正子  
玉置 美名子  
鶴沢 有希子  
照井 篤子  
徳弘 保  
徳弘 博子  
登丸 あすか  
登丸 はるな  
富岡 美知子  
友滝 由美  
中井 麻美  
中田 峯代  
中谷 尚三  
中埜 あけみ  
中野 智津子  
中野 道代  
中野 義澄  
長野 良子  
永原 武敏  
中村 美枝  
七浦 美智子  
成田 妙子  
西川 達章  
西田 益久  
西原 真理子  
西村 政明  
西本 成美  
野口 由紀子  
野崎 志帆  
野島 大輔

野田 幸宏  
野村 亜紀  
野村 智子  
野本 尚子  
芳賀 理絵  
萩尾 安希子  
箱山 泰子  
長谷川 洋司  
馬場 頼子  
林 亜矢子  
原田 綾子  
原田 武男  
原田 正仁  
比嘉 公子  
東山 由紀  
久木 治男  
久田 礼子  
平田 倫子  
平本 孝雄  
樋渡 達成  
深井 志葉  
福井 幾子  
藤井 恵美子  
藤島 宏美  
藤田 和世  
藤本 慎治  
藤原 幸司  
細見 啓子  
本田 文代  
牧崎 知香  
牧 亮太  
増田 悦子  
増田 博子  
松井 克行  
松浦 義昌  
松林 純一  
松原 裕子  
松本 康之  
間所 宏規  
丸尾 賢二  
丸山 竹司  
三木 秀夫  
水田 仁美  
溝口 晴美  
三谷 あゆ子  
南 一成  
宮本 隆雄  
村上 深雪  
本原 光弘  
森川 陽子  
森田 登  
森 博次  
森山 浩江  
八木 加奈美  
矢野 景子  
藪田 直子  
山岸 節子  
山口 博之  
山下 真琴  
山野上 隆史  
山本 愛  
山本 周治  
山本 瑞枝  
山本 弥生  
山本 惠信  
結城 陽子  
横川 直躬  
ヨタ ジェリー

横山 梨沙  
吉岡 良子  
吉川 典郎  
吉澤 紀子  
吉田 潤子  
吉田 昭文  
米澤 千枝  
和泉 周子  
和田 啓子  
渡邊 直子  
渡辺 瑞佳  
綿貫 真弓  
和田 由起子

他、匿名 61 名

## <団体>

公益財団法人 AFS 日本協会大阪北支部  
NPO 法人 国際交流団体未来  
NPO 法人 国際交流の会とよなか (TIFA)  
学校法人 中央工学校 OSAKA  
豊中三教会合同  
豊中市教職員組合有志の皆様  
一般社団法人 豊中市日本中国友好協会  
とよなかにほんご・金あさ  
豊中平和連帯会議  
株式会社 ビケンテクノ  
ホストファミリーグループ アミーゴ  
ほくせつ医療生活協同組合

## 賛助会員になって、 協会を応援して下さい!

協会の理念に賛同して、会員として協会の外国人のための支援事業を支えて下さる方を募集しています。

会員になると、「おしらせ」などの情報を毎月お送りします。お申し込みは以下の郵便振替口座あてに年会費をご送金ください(通信欄に「賛助会員年会費」と明記して下さい)。直接事務所でも受け付けています。(会費は税額控除の対象となります)

### ●加入者名:

公益財団法人とよなか国際交流協会

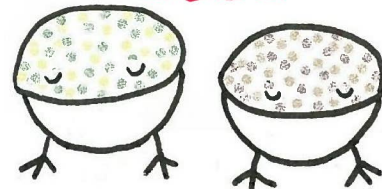
### ●口座番号:

00990-3-305828

●年会費: 個人 3,000 円、  
団体 10,000 円、法人 10,000 円

※ご寄付も随時受け付けています!(税額控除の対象となります)

※他、未使用テレカやはがき、ゲームソフトなども集めています。





# (公財) とよなか国際交流協会 役員

(2018年4月1日現在、順不同、敬称略)

## 【理事】

理事長：松本 康之（弁護士：長野総合法律事務所）  
 常務理事：金 相 文（前とよなか国際交流協会事務局長）  
 榎井 縁（大阪大学未来共生イノベーション博士課程プログラム特任准教授）  
 大島 昭子（ボランティアグループ音・音オカリーナ代表）  
 中野 義澄（元豊中市小学校教諭）  
 服部 圭子（近畿大学生物理工学部准教授）  
 徳弘 博子（元学校法人大阪音楽大学研究事務部門長）  
 栞高 喜秋（元豊中市職員）  
 山野上 隆史（とよなか国際交流協会事務局長）

## 【監事】

種田 ゆみこ（種田ゆみこ公認会計士税理士事務所）  
 呉 幸 哲（呉税理士事務所）

## 【評議員】

井関 雅子（豊中女性防火クラブ連絡協議会会長／大阪国際文化協会会員）  
 野崎 志帆（甲南女子大学文学部多文化コミュニケーション学科教授）  
 窪 誠（大阪産業大学経済学部教授）  
 園崎 寿子（エクパット・ジャパン関西共同代表）  
 宋 悟（特定非営利活動法人クロスベイス代表）  
 大家 幸子（豊中市立中学校教諭）  
 村上 深雪（豊中市民）

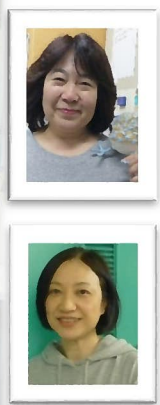
## 【顧問】

金 菊子（大阪女学院大学特任講師）  
 南 一成（元公益財団法人大阪府国際交流財団常務理事兼事務局長）  
 柴田 亨（よみかき茶屋コーディネーター）

# STAFF

(誕生日順) 2018年4月1日現在

事務局スタッフ一同 (+理事長) です。どうぞよろしくお願ひします!



- 前列左より：松原光与（総務担当）／山本愛（事務局次長）／山野上隆史（事務局長）／金相文（常務理事）  
 安藤綾子（総務主任）／松本康之（理事長）
- 後列左より：三木幸美（総務担当）／黒島トーマス友基（事業担当）／山根絵美（事業主任）  
 三谷あゆ子（総務担当）／大庭みゆき（事業担当）／山本房代（事業主任）
- 右囲み内、上から：中谷洋子（夜間受付担当）／池田かよ子（夜間受付担当）

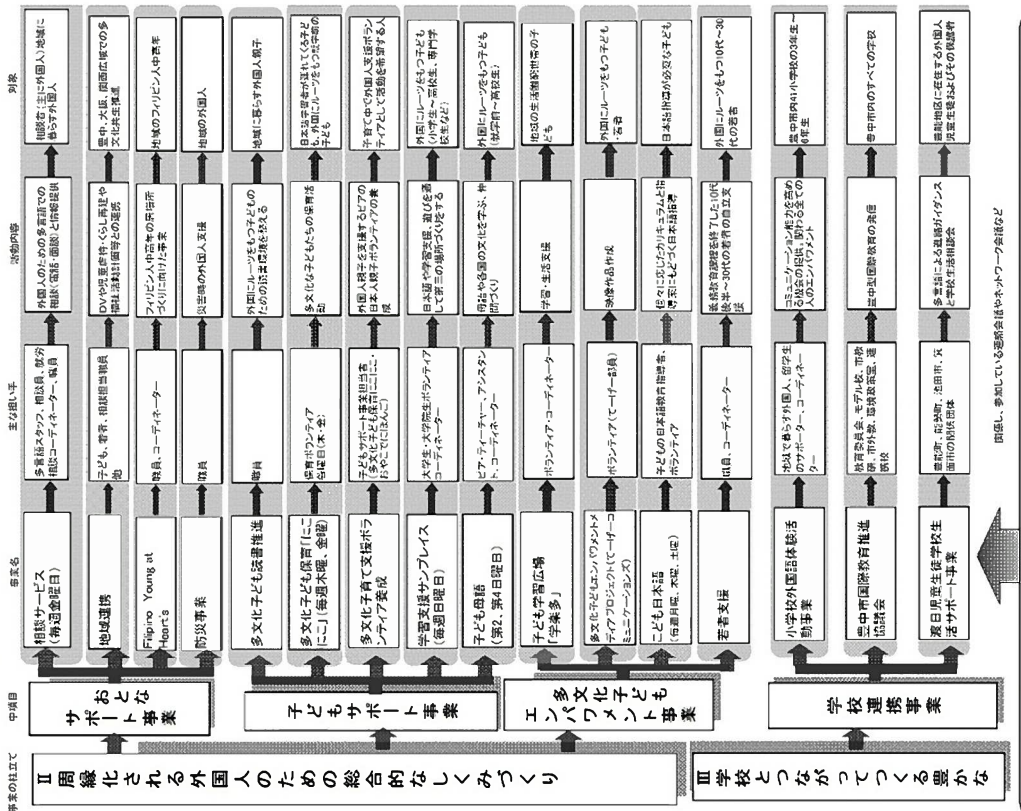
Facebook Page  
あります!



公益財団法人とよなか国際交流協会 2017年度年次報告書(概要版)「こくりゅう@home 2017」  
 発行者：公益財団法人とよなか国際交流協会 発行責任者：理事長 松本康之 発行日：2018年7月15日  
 住所：大阪府豊中市玉井町1-1-1-601 とよなか国際交流センター  
 TEL: 06-6843-4343 FAX:06-6843-4375 E-mail: atoms@a.zaq.jp URL: http://a-atoms.info

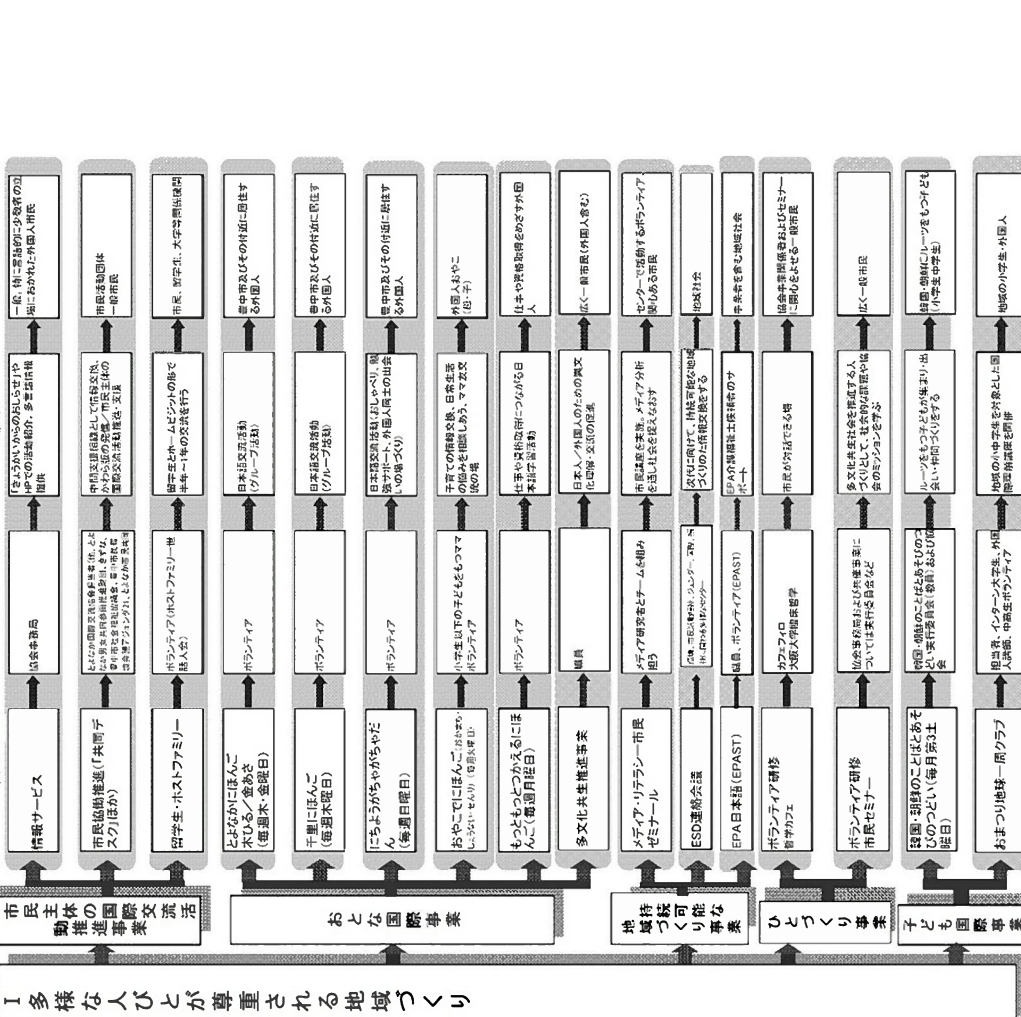
### 2017年3月現在 公益財団法人となが国際文化交流協会：事業一覧

本協会の設立は、マイカチの活動を拡大するために、地と人をつなぐ「出逢い・つながり」による「市民参加型の活動」「自己や社会活動」「研修や学び合い」という組織的な事業の柱として、マイカチの子どもや親しみの学校としての場を創出し、協会の社会性を刷新していくを旨としています。



関係し、参加している関係団体やネットワーク会議など  
豊中市DV防止ネットワーク会議、豊中市子どもを守る地域ネットワーク会議、豊中市人権相談ネットワーク会議、豊中市子ども会協議会、豊中市教育委員会、豊中市生涯学習推進協議会、豊中市国際教育推進協議会、大府外国人相談窓口担当者ネットワーク会議(ハングリー、ハングリーキャンペーンを含む)、全国在日外国人学生生徒協議会、豊中市国際教育推進協議会、大府外国人相談窓口担当者ネットワーク会議、子ども施設推進本部会議、支援専門部会議担当者会議、子ども・若者支援協議会、子ども施設推進本部連絡会議など

本協会の柱として、マイカチの子どもや親しみの学校としての場を創出し、協会の社会性を刷新していくを旨としています。



関係し、参加している関係団体やネットワーク会議など  
豊中市DV防止ネットワーク会議、豊中市子どもを守る地域ネットワーク会議、豊中市人権相談ネットワーク会議、豊中市子ども会協議会、豊中市教育委員会、豊中市生涯学習推進協議会、豊中市国際教育推進協議会、大府外国人相談窓口担当者ネットワーク会議(ハングリー、ハングリーキャンペーンを含む)、全国在日外国人学生生徒協議会、豊中市国際教育推進協議会、大府外国人相談窓口担当者ネットワーク会議、子ども施設推進本部会議、支援専門部会議担当者会議、子ども・若者支援協議会、子ども施設推進本部連絡会議など



# 2018.4.1 大阪事務所 完全 OPEN!!

火曜日～土曜日

(日・月・祝休み)

12:00 ~ 19:00



外国人のための日本語教育専門書店 We Specialize in Japanese Language Materials for Foreigners

にほんごの **凡人社 大阪事務所**  
BONJINSHA OSAKA OFFICE

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 4-2-10 大西ビルディング 1 階  
1st floor Onishi Building 4-2-10 Kyutarochō, Chuo-ku, Osaka-shi, 541-0056

地下鉄 本町駅 (出口15・21) より 徒歩 2 分  
2min. walk from exit 15 or 21 of Hommachi Sta. Subway

\*大阪事務所の開放日についてはウェブサイトをご覧ください。Osaka office is occasionally opened. Please confirm the business day on the website.  
<http://www.bonjinsha.com/wp/osaka>

※研修会の開催などにより、事務所の営業時間の変更などがございますので  
ご来店前には HP やお電話・メールにて OPEN 情報をご確認くださいませ。

<http://www.bonjinsha.com/wp/osaka>

[mueda@bonjinsha.co.jp](mailto:mueda@bonjinsha.co.jp)

在庫の確認やご覧になりたい教材などのお問い合わせもお気軽にどうぞ!!  
皆様のご来店心よりお待ちしております!!





社会福祉法人 幸和会  
特別養護老人ホーム ふるる

「ゆったりと穏やかな時間を過ごして頂く」  
この気持ちを大切に、日々ご利用者様のケアに努めています。

1号館 〒561-0813 豊中市小曾根4丁目5番1号 Tel:06-6336-8850 Fax:06-6336-8853  
2号館 〒561-0817 豊中市浜3丁目8番4号 Tel:06-6336-8865 Fax:06-6336-8867  
URL:<http://www.fururu-home.com/> \*Facebook もぜひご覧ください\*



だれもが自分らしくすやかに生きることが  
できるまちづくりをすすめます。

VISION~しょうないガダバがめざすもの

- いろいろな背景や文化をもつ様々な人たちが、  
ちがいを越えてともに生きることができる場所を作ること。
- すべてのひとが健康で安全に希望を持って、  
生きるために必要なモノ・コト・ひとの提供。
- 様々な情報を収集し必要な人たちに情報を発信すること

CONCEPT~しょうないガダバとは？

- さまざまな文化や背景をもつ人たちが集う場所。
- 誰もが自分らしくしあわせになるための場所。

学校に行くのがつらいとき、  
家にあんまり帰りたくないとき、  
家にいるのがしんどいときには、  
しょうないガダバに来てみて。  
薬はみんなの笑顔とおしゃべり。  
あたたかいごはんを食べたり、  
ゆっくり休めるお部屋もあります。

すぐ使える！

家にいるのがツラくなったとき、  
ちょっと気分転換をしたいときに  
すぐ使える！

いつでも使える！

使用時間帯に制限はありません  
(お泊まりするときは要相談)

誰でも使える！

ガダバのルールを守れる人なら  
こどもからおとなまで誰でも使える。



## 保険のことならおまかせください！

生命保険 損害保険 傷害保険  
自動車 自転車 火災・地震  
子ども 旅行 趣味 老後 等

株式会社 ライフサポート  
大阪府茨木市美沢町20番地18号1F  
電話番号 072-646-5434  
E-mail kobayashi@sj-agent.com  
[http://www.sjnk-ag.com/a/life\\_support/](http://www.sjnk-ag.com/a/life_support/)

## 吉岡誠一行政書士事務所

帰化、短期滞在、在留資格、永住  
農業用地の宅地への変更  
NPO 法人設立  
遺言書作成  
遺産分割協議書作成  
古物商申請  
中央官庁陳情文書作成

〒560-0011

大阪府豊中市上野西2丁目19番7号

H・P 090-8481-8485

E-mail spk92ed9@energy.ocn.ne.jp

TEL/FAX 06-6853-7433

FUJI xerox DocuCentre-VII C4471

ORISO RISOGRAPH SF935

ペーパーレス複合機

印刷新時代

世界最速の印刷機

お問い合わせ ☎ 06-6764-5567

プリントマシンセンター株式会社

## 飛鳥美術

美術品や骨董品、不用品の処分・買取について  
ご相談いただけます。

飛鳥美術 担当:古賀弘  
〒563-0356 大阪府豊能郡能勢町平通 101-390  
電話:090-6826-8559  
[honghongvtec@hotmail.com](mailto:honghongvtec@hotmail.com)

WELCOME! いらっしゃいませ〜  
ぜひ食べに来てくださいね!

在住外国人が母国のランチを紹介します  
**サパナランチ** 平日 11:30~14:00頃




お弁当もどうぞ!

**TIFA カフェ・サパナ** 豊中市本町 3-3-3  
(阪急 豊中駅北口より徒歩 3分)

連絡先: NPO 法人 国際交流の会とよなか(TIFA)  
TEL/FAX: 06-6840-1014 Email: tifa99@nifty.ne.jp facebook



韓国光州オモニ (母) の味

# 鳳仙花

☎06-6334-3299

豊中市庄内東町 1-4-22  
(庄内駅から徒歩 1分)

ランチ 12:00-14:00  
ディナー 18:00-24:00  
ディナー: 年中無休  
ランチ: 日・祝休



**MERRY GO ROUND**

## 保育ルーム メリーゴーランド

0歳〜5歳までを対象に、  
定員10名までの小規模保育をしている  
認可外の保育施設です。

子どもたちと英語で関わってくれる  
外国の方を募集しています。  
国籍は問いません。

保育の資格を取りたい方、  
日本語を勉強したい方も歓迎です!

週1回【英語 day】をつくり  
日常生活に母国語以外の言語に触れる機会を  
子どもたちに提供したいと考えています。

一緒に楽しい時間を過ごしませんか?

**保育方針**

- 可能性を十分に引き出す保育
- 考える力・意欲を大切にする保育
- 子どもの成長に合わせた保育
- 五感を使って遊び、学べる保育

## 立呑み ふる里の家 コヒャンエ チツ



本場韓国オモニの味をリーズナブルにお酒と味わえます

☎06-6332-3531

豊中市庄内東町 1-7-37 (庄内駅から徒歩 1分)

営業時間 17:00-23:00


## 豊中をより良いまちにするため 私たちと一緒に活動しませんか

一般社団法人 豊中青年会議所

メンバー 募集中 SNSフォロワー拡大中



住所: 〒561-0884 大阪府豊中市岡町北1丁目1-2  
TEL: 06-6855-5353 HP: <http://toyo-jc.com/>



空調機器販売・設計・施工  
空調機リース・レンタル  
給排水衛生設備 住宅設備機器販売・施工



## 株式会社 アオイ冷熱

〒560-0026 豊中市玉井町1丁目9番9号  
PHONE (06) 6855-8182  
FAX (06) 6855-7566  
E-mail: aoi-mail@tcct.zaq.ne.jp

日本語を学び、さらに飛躍する環境がすべてここにあります。

服部緑地公園の緑に囲まれ、北大阪急行緑地公園駅より歩いて3分という恵まれた立地にある  
伝統と実績の専門学校です。建築系の工業専門課程のほかに、文化教養課程の日本語科があり、  
世界各国から訪れた多くの留学生が熱心に日本語を学んでいます。

《日本語科》 2年コース・1年6か月コース・短期3ヵ月コース

**中央工学校 OSAKA 日本語科**

学校法人 中央工学校

〒561-0872 大阪府豊中市寺内一丁目 1-43  
TEL: 06-6866-0808 FAX: 06-6866-1616  
ホームページ: [www.chuoko-osaka.ac.jp/nihongo](http://www.chuoko-osaka.ac.jp/nihongo)  
E-Mail: nihongo1@chuoko-osaka.ac.jp

広告協賛